

晴香園だより

題字 山本健治先生

平成27年度事業計画

晴香園は今年で設立後13年目となります。設立当初は未就園児や小学生がほとんどでしたが、今は中学生と高校生で4割以上を占めています。

園の雰囲気も変わり、思春期の子どもたちへの対応が支援の重要な一角を占めるようになっていきます。それは、自立に向けて見通しを持った支援の重要性をつきつけられることでもあり、見通しを持ったうえで小さいころからの積み重ねによる力の育成の必要性を再認識させられることでもあります。

また、社会的養護の脱施設化の流れの中で、将来の晴香園の在り方も見据えていかなければなりません。それらのことから、平成27年度は、次のことに重点を置いて取り組みます。

自己形成の支援

子どもの自己形成の支援の一環として、学習体制の定着化と生活の場づくりに入れます。

学習については、塾の先生にご協力いただき、専門的な観点で一人ひとりの学習課題を明確にして個々に合った学習形態を取り、学習の成果がより上がるようにします。学校との連携を深め、特別支援も含めてより適切な学習環境

第25号

発行

児童養護施設晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail: info@s-haruka.org



が適切な時期に作れるようになります。

生活の場づくりとしては、昨年度から物に関しての個別化を進めるため、机やダンス、電気スタンドなど、一人ひとりの選んだものを買そろえてきており、それぞれの個室に個性が感じられるようになってきました。さらに一人ひとりの物が充実できるようにし、生活を作る実感を持てるようにしていきます。

また、今年度は卒園を予定している児童が5名おり、一人ひとりが自分に合った社会との関わり方を考え、社会人になる自覚を高め、責任ある社会生活を送れるよう、個々のプログラムを組んで取り組みます。それらの個別支援の強化に向けて人員を配置します。

年に2回行ってきた児童ヒアリングは、第三者が行うようにして問題の早期発見に努めます。

「家庭的養護推進計画」の実施とステップハウスの検討

全国で施設の小規模化、地域分散化を進めるための家庭的養護推進計画は平成27年度からスタートします。晴香園においては、平成27年度に小規模グループケアの増設（現在の2カ所から6カ所へ）、平成31年度までに地域小規模児童養護施設を設置する計画です。また、卒園児が社会に出て一人暮らしを始めるとき、の困難さを少しでも緩和し、ステップを踏むことによつてスムーズな自立が図れるよう、一人暮らしに入る前段階のための住居を作ることに後援会役員会で検討されてきました。この地域小規模児童養護施設及びステップハウスの設置に向けて、資金面も含めて、具体的な検討と準備を開始します。

モデルホームの検証と実践

子どもの自立支援に向けた新たな枠組みを作ろうと、平成25年7月に立ち上げたオーシャンホームですが、実践に困難を抱えています。今年度はもう一ヶ所モデルホームを増やして、切磋琢磨しながら進めていけるようにするとともに、定期的な検証の機会を作ります。

目的を常に意識して仕事をしていくことを習慣化し、より有効な計画のもとに実践し結果を検証して次につなげられるようになるための研修を行います。

基本的支援の強化として



小2女児の絵画【かわいいカメ】
学校で描いた作品を自分の部屋に飾っています。

晴香園 平成27年度予算・平成26年度決算

晴香園・平成27年度予算

経常収入(単位:千円)		経常支出(単位:千円)	
(1)措置費収入	191,223	(1)人件費	121,755
(2)補助金収入	10,109	(2)事務費	16,056
(3)寄付金収入	9,000	(3)事業費	57,348
(4)その他収入	3,928	(4)その他	746
214,260		195,905	

晴香園・平成26年度決算

経常収入(単位:千円)		経常支出(単位:千円)	
(1)措置費収入	166,087	(1)人件費	109,311
(2)補助金収入	10,303	(2)事務費	12,467
(3)寄付金収入	13,435	(3)事業費	48,337
(4)その他収入	3,488	(4)その他	739
193,313		170,852	

※事業費の主な内訳、給食費16,500、学校等費用12,845、体験活動等費用4,918、就職支度費・進学費用2,154

は、実践チームを核としてスパーバイズを受ける体制を作り直します。
さらに、人に対する敬意を育む文化の醸成のため、職員

自ら姿勢を正しお互いを活かす職場文化を築こうと、定期的な自己点検を開始したところであり、継続していきます。

小さな友へ
専務理事 沖和汎

いつごろからか、国家や民族、性別、家族制度などといった文化が自分の中で影を薄めていく様を感じています。歳のせいかもしれません、それだけではなさそうです。思えば若いころから、何かを前提にしてものを考えることが好きではなかった。「すべてのもは変化する」とすれば無前提で何かを考えることにも一理あるからです。
無前提主義——それは『正義論』を書いたロールズが、その論理の前提にした「原則状態」のひとつ（無知のヴェール（情報を何も持たなかったとき人はどう考えるのか）に似た概念です。
確かに無前提に立つといっても、社会の慣習や仕組みはそう簡単に変わりません。それを無理して変えようとすれば周囲からのバッシングは必至です。それでも現実を直視し、そのうえで無前提主義を

貫く、そんな勇気が必要なきもありません。
かつて晴香園では、大学等への進学資金、勉強会の費用、塾代のすべてを後援会の皆様から寄付していただけるようになったのを機に、ボランティアや先生OBの方々の協力を得て、園内で勉強会を開くことにしました。むろん勉強会に参加するか否かは子どもの自由、それにしても結果は悲惨でした。参加した子どもは3、4人、しかも学習の場というにはほど遠い雰囲気でした。塾へかよう子は皆無。それでも担当者は最後まであきらめず、勉強会のある日は夜遅くまで子どもにつき合いました。終われば講師から講評を聞いていました。そんな担当者も姿に、いつしか参加する子どもも増えましたが学ぶまには至りませんでした。
その後、現施設長がこの路線を引き継ぎ、学びの内容や方法を心を砕き、工夫に工夫を重ね充実を図ってきました。ところが、晴香園のこうした取り組みに対し、周囲の専門家の間から厳しい批判の

声があがりました。「子どもの心の傷をいやすのが先ではないか」「児童養護施設は学校ではない」。むろん子どもの傷を癒すことも必要ですが、子どもは18歳になれば晴香園を卒園し、社会へ巣立って行きます。そのとき困るのは子ども自身です。
児童養護の枠組みを前提にした批判はさらに続きましたが、現施設長は道を曲げることなく、背筋を伸ばして踏ん張ってきました。今では塾通いしていない中学生は稀で、小学校の高学年を対象に行っている学習会も学びの場近づいてきました。
〈学び〉はじめてから9年、ようやく学ぶことが園内において子どもの文化になったのです。
この間、上級学校に進学した者6名を含め高卒者10名、在籍中の高校生10名、中途退学者は「ゼロ」です。ちなみに全国の高校中退率は6%前後となっています。
後日談になりますが、中学生の塾代に加え、今年度より小学生の学習会の費用と高校

生の塾代については、国が負担することになりました。後援会の皆様の思いが蟻の一穴になったのです。

——そして小さな友よ。

かつて人は石塊の荒地地に水を引き、田畑を耕し、晴れた日は山野を巡り、風の日は海に向かい、獲物を仕留め連綿と命をつないできました。3年、5年、また3年、果て

ない未来に生まれてくる命もあります。海のはるか彼方、灼熱の大地には一日に3回、バケツ一杯の水を汲むために数キロ先の川まで歩かねばならぬ子どもたちがいます。学校にも通えず、今日も空を見上げ、かろうじて言葉を紡いだきた子どもたちがいます。

（あなたのために、わたしは生まれてきた）

小さな友よ、すべてのものは変わります。君たちはみな、等しく社会を変える力をもって生まれてきた。この力を行使せず、消費社会に埋もれてしまつてはなりません。戦争、飢餓、疫病、環境破壊など、社会には変えなければならぬものが山積しています。（あ

なたのために……）

72億3千万の民がみなそう思うとき、これらの問題は消え、守る必要のない平和が訪れてくるのかもしれない。われも人の子ゆえに人の死を知れば悲しく思う。誰がために鐘は鳴ると問うなかれそは汝がために鳴るなれば

へミングウエー『誰がために鐘は鳴る』より

ホーム紹介 ユーカーリ

晴香園では、それぞれのホームが子どもたちにとって「自慢の我がホーム」となるように、特色を持たせたホーム作りを行なっています。

今年度のユーカーリのテーマは「海」。理由は2つあります。1つ目は、ユーカーリの子どもたちは、何より、海の幸が大好きだからです！ 月に一度の夕食会（各ホームでメニューを決めて食事を作る）



水槽の金魚

でも、ほとんどが海鮮メニュー。築地にも美味しい海鮮井やお寿司を食べに行きました。子どもたちも率先して料理をしてくれるため、魚やイカをさばくのもとても上手。

2つ目は、ユーカーリで6年以上も育ててきている巨大金魚たちが、昨年、卵を産んだからです！ 水草についている小さくて透明な卵に最初は驚きましたが、試行錯誤しながら世話をして稚魚たちの成長を見守ってきました。生命の不思議を感じられる体験から、子どもたちの興味関心も高まっています。そして、潮干狩り体験。



水槽のお手入れ

暑くもなく寒くもないまさに潮干狩り日和の日に、「海の生き物、捕まえない！」「早くあさり食べたいな！」「海に行くのは初めて！」それぞれ楽しみを胸に、待ちに待った潮干狩りに行ってきまし



潮干狩り

た！
広がる海の大きさ、人の多さに驚きつつ、いざ潮干狩り！ かと思いきや、子どもたちは海の生き物を捕まえるのに夢中だったり、なかなかアサリがとれなかったりと潮干狩りムードにはならず、職員がせっせととることに。そのうちNちゃん（小6）がアサリとりのセンスを発揮！



見つけた貝

バケツにいっぱいのアサリをたくさん見つけてくれました。他のホームへのおすそ分けも考えて、なんと2キロもお持ち帰りすることができました。
海の生き物探索隊もエビやヤドカリ、小魚を捕まえ大満足。帰ってすぐにアサリの砂抜きやらおすそ分けやらヤドカリたちの巣作りやらで大忙

し。
アサリは翌日頂きました。とても美味しく、大絶賛でした。食べる直前、口を出して生きているアサリたちを見て、子どもたちは何を感じたでしょうか。

今年度は他にもたくさんの方にちなんだ体験を予定しています。「八景島シーパラダイスへの外出」「アートアクアリウム展鑑賞」「漁師体験」「さんま祭りに参加」「映画『オーシャン』鑑賞」などなど。今からとても楽しみです。

また、リビングにおいてある水槽で暮らしている、金魚ちゃんたちに素敵なお家を作りたいのですが、アクアリウム作成については知識も経験もなく、うまくいくか心配です。もし、みなさんの中で、「アクアリウムの作り方を教えてあげられるよ！」という方がいらっしやいましたら、ご指南頂ければ幸いです！



後援会と 晴香園の交流

5月2日(土)、ナプシヤルズ南柏で「後援会会員と晴香園の交流会」が行われました。子ども達は、朝から綺麗な洋服に着替えをして、時間まで待ちきれない様子で会場まで賑やかに歩いて向かいました。



ステージで出演者と歌って踊る子どもたち

会場では、子ども達の活動パネルの前で、会員の方に「こ

れ、私！」とアピールしている子もいました。普段見慣れないお食事では、会員の方に取り分けて貰ったり、飲み物を注ぎ合ったりしながら交流を深めました。

今回のコンサートは、「炎神戦隊ゴーオンジャー」のOP歌手として知られる高橋秀幸さんの歌唱ショー。小学生以下の子どもたちを中心に大はしゃぎの盛り上がりでした。

職員としては、ヒヤヒヤする場面もありましたが、高橋さんの、腕白な子ども達の扱いに慣れた様子と会員の皆様の温かい眼差しに救われた思いでした。ともあれ、会員の皆様には、元気な子ども達の様子を、生でご覧いただけただけです。
ご来場いただきました皆様、有難うございました。



新規会員ご入会 継続会員費 納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。
お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

杉木 峯夫
(敬称略・順不同)

【継続会員】

- 青木 早苗
- 赤田 孝子
- (株)アクティブ湘南
- (株)ライフプラン・あさみ
- 安増 幸子
- 栗野 修一
- (株)安藤ライフサービス
- (株)アリスコーポレーション
- 北関東ファミリー(株)
- 飯田 すみ子
- (株)伊賀屋
- 千代田運送(株)
- 衣川 裕之
- 育野 悠紀
- 石川 泰幸
- (株)石崎商店
- (有)飯塚保険事務所
- (株)フレックスファミリー
- 石原 研作
- 和泉通信工業(株)
- 磯中 淳
- 市川 仁子

【新規会員】

(今号では、平成27年4月1日から平成27年7月31日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます)

- 竹川 恭裕
- 三枝 史隆
- 井出 慶子
- 村山 隆史
- 藪腰 淳
- 武井 厚司
- 岩橋 泉苗
- イソベ ヒロカズ
- 司城 紀代美
- 児玉 徹
- 新藤 恵美子

市村 信夫 (株)いきいき舎 (有)マイベース 井上 善子 猪瀬 義明 (有)朝日れすか新聞社 (株)インテリア計画 (株)ウイン 内村物産(株) 内山 忠 (株)アクトワン 梅村 施二 浦野 睦子 (株)エーエフシー 海老原 一紀 太田 和利 大塚 勝実 大野 稔 大町 勝 大和山 太郎 尾方 景子 岡野 照 小野 きへ子 尾原 榮夫 小山田 美和子 鹿毛 貴美子 鹿児島ファミリアライフ サービス(株) 一杉 秀平 宗教法人鶴岡八幡宮 (株)ワールドファミリア	河村 ムツヨ (株)サン・フラックス 木村 千鶴子 草間 敏夫 久保村 禮子 (有)ファミリアライフクラモチ 粟田 裕 河野 智子 コーヨーコーポレーション(株) (有)ユウ・アイ・コンサルテイング 齋藤 健 齋藤 竜年 齋藤 成美 (有)カモ川ライフサービス 佐久間 由泰 森 千賀子 佐々木 雅子 インケア(株) 佐藤 守 (有)サンアロー (株)三喜ビジネスコーポレーション (株)サンダーファミリア 副島 隆信 (有)アシストハウス (株)信濃 柴田 和子 柴田 弘子 柴野 太郎 柴原 文義 島田 美里 島田 洋子	清水 潤也 (株)北日本ライフサービス 助川 かづ美 鈴木 愛子 鈴木 和子 中部ファミリアライフ(株) (株)スタッフ 須藤 幸子 須藤 孝子 (株)日商エイジェンシー 関口 明 高橋 義和 高浜 裕二 高宮 哲也 (株)日本ビジネス 竹崎 典夫 武田 啓 竹縄 妙子 田中 煌子 (有)ウイズライフ (有)ティエムライフコンサルタント 谷口 秀次 田村 茂 (有)丹治 (株)智泉 千葉少年友の会松戸支部 会計 石川 素子 ツーサン(株) 辻 朝子 アジルライフネット(有) 土屋 由美子	(株)ユウキ東洋 九州共栄ファミリア(株) 遠峯 厚子 富澤 實 内藤 徹雄 ナカイ(株) (株)仲亀 (株)ベスト (有)長島産業 中原 雅子 杉木 峯夫 中村 俊之 中山 晃司 アドミラル産業(株) 西嶋 昭生 西澤 昌彦 (株)西村 ノイエス(株) 能村 俊介 野尻 壽子 葩島 優子 (有)浜田レンタリース 林 正和 (株)早見設備 張替 勝雄 飯田 歳子 (有)東出ライフサービス 平井 美子 笛木 忠 (株)アップ・シーアイ 富士ライフ(株)	淵本 康方 文入 加代子 平和店舗デザイン(株) ホシビジネスサービス(株) 本田 務 前田 博子 牧野 英美子 松井 秀文 (有)アンフィニイ 松戸遊技業防犯組合 松橋 良成 松丸 照雄 (有)松正 松丸 万利子 松丸 由紀子 馬淵 麗子 丸山 睦子 (株)花創美 宮下 宏幸 (株)ミヤマ建設 (有)コンシエルジュMドリーム (株)メイワ 百瀬 多可子 (株)森モータース 守谷 朱美 柳沼 希博 (有)安井エージェンシー 矢吹社会保険労務士事務所 山北 道治 山口 文代 山口 梶子
---	--	--	---	--

山下 千代松
 マイコミュニケーション(株)
 山中 瑞枝
 (有)経通
 北海道ファミリー(株)
 山本 京子
 山森 隆俊
 (株)ユーライフ
 弓削 喜代子
 (有)彩誠
 (株)徳英
 吉田 茂穂
 医療法人社団六泉会
 (有)ウインク
 脇田 順
 (有)バス・アイ
 渡邊 啓子
 和田 英光
 和仁 敏夫
 刀根 英二
 北中 信子
 桜井 真理子
 (有)ときわだいら動物病院
 片岡 京子
 (株)ライズ
 小原 顕
 野村 義
 堀井 豊
 (有)Yama33
 堀井 博子
 山本 貢

大井 史雄
 吉澤 三喜男
 林 茂和
 中田 京
 小林 由美子
 高埜 洋子
 柏原 桂子
 古市 香代子
 増子 隆
 井坂 富夫
 江口 絹代
 川俣 美知子
 (有)植木宝石
 (株)エヌアイ
 高橋 啓子
 小輪瀬 征太郎
 霜田 啓子
 厨 英彰
 バレイ 友佳子
 (有)タイガーライフ
 木成 洋一郎
 三原 誠
 立花 美枝子
 富安 もよこ
 社会福祉法人新和福祉会
 平田 文代
 箱田 徹
 野田 恵子
 高橋 美穂
 橋本 信男
 渡邊 眞規子

(株)江戸川
 進士 美喜子
 太田 卓
 倉持 秀次郎・淑子
 高木 貴代
 中島 淳子
 小嶋 祐司
 雨宮 玲子
 山口 双葉
 小嶋 明日香
 宇井 ひさ江
 山本 健治
 山田 明夫
 下田 麗子
 芳賀 紀美子
 石山 陽子
 うらやす・はっぴーくらぶ
 (株)ライフサポート
 宇田川 太江子
 石原 喜久雄
 平山 健
 西澤 年子
 五大ホーム株式会社
 山本 忠明
 竹谷 克典
 藤田 恵美子
 征矢 俊子
 高木 公明
 豊田 明
 宗教法人 明言寺
 こぶ観音救援基金

赤羽 敦
 福本 節子
 スクールIEE小金原校
 鈴木 由美子
 我妻 美根子
 竹谷 重子
 菅井 汎
 安藤 淳子
 生方 恭子
 猿渡 英明
 宮川 平雄
 小澤 けい子
 吉場 重子
 吉田 晴美
 金村 慶二
 加藤 康成
 渡部 美智子
 石井 孝子
 樋渡 利秋
 下塩 涉
 新田 君子
 林 まつえ
 池田 明子
 五十畑 ヤエ
 中嶋 洋子
 秋山 実
 宇高 和子
 山崎 弥生
 戸畑 よしづ
 阿部 純
 阿部 恵

塩澤 好紀
 武藤 晶子
 古館 紀代子
 谷 康夫
 北條 秀明
 吹上 洪
 奥山 稔
 田邊 日登美
 久保 国雄
 齊藤 正明
 木元 淳平
 石川 琢哉
 若目田 理英
 竹川 恭裕
 三枝 史隆
 井出 慶子
 村山 隆史
 藪腰 淳
 武井 厚司
 岩橋 泉苗
 イソベ ヒロカズ
 司城 紀代美
 児玉 徹
 新藤 恵美子
 匿名 1名
 (敬称略・順不同)

「晴香まなび基金」へのご寄付
 ありがとうございます

金村 慶二
 育野 悠紀

心温まるご厚志
ありがとうございました

本庄 亮一
副島 隆信
古館 紀代子
島田 洋子

松戸地区更生保護女性会
会長 佐南谷 雅枝

公益財団法人 SBI
子ども希望財団

松戸市子ども部
子ども家庭相談課 海野

パン工房 アトリエメール
店主 小林 須美子

セカンド・ハーベスト・ジャパン
山崎製パン 松戸工場

従業員組合 松戸支部
ミスターパチンコ 流山店

植杉工業
代表取締役 植杉 勝

(株)チュチュアンナ
社会福祉法人茶の花福祉会

さやま大樹作業所
NPO法人

NPO法人
ゴールドリボン・ネットワーク

NPO法人 Imagine
副理事長 山下 緋沙子

松戸遊技業防犯組合
マルハン松飛台店

ピーポケット
アデス食品
オペラ座
植木宝石
アリス館 小林佑

合歓 五十嵐 かず子
厨英彰、恵理子、霜田啓子

山口 文代
安井 博子

猿渡 英明
柴田 和子

中山 誠一
和田 純子

小財、北川
大熊 明

長坂 桂子
長野 志帆

イチカワ
サカモト

須藤 勝
日暮 雅美

はらだ小児科 原田 勝
タナカ トシカズ

一般社団法人チームケイエム
代表 南 敬介

岩崎 文雄
松戸ラジコンクラブ

匿名2名
(敬称略・順不同)

ボランティアのご協力
ありがとうございました

○花ボランティア
NPO法人 Imagine
副理事長 山下 緋沙子
松戸更生保護女性会

○誕生日ケーキプレゼント
オペラ座
(敬称略・順不同)

- 学習ボランティア
柴田 和子
田中 里奈
高橋 千尋
湯本 佳子
小林 由美子
青柳 陽子
猿渡 英明
荒川 由里恵
井手 慶子
杉浦 かおり
林 洋子
神部 等司
- 遊びボランティア
松田 瑞樹
- 家事手伝いボランティア
和田 純子
- 図書室ボランティア
口地 美恵子
深山 喜子
- ピアノレッスンボランティア
石井 美和
- 習字ボランティア
山本 健治
- 散髪ボランティア
ハーフムーン

晴香園後援会 平成27年度予算・平成26年度決算

平成27年度の晴香園後援会の予算をお知らせします。

1.収入の部(単位:千円)	8,139
(1)前期繰越金	2,139
(2)会費	5,900
(3)その他	100

2.支出の部(単位:千円)	8,139
(1)卒園児支援	2,940
(2)学力向上支援	60
(3)活動支援	2,293
(4)後援会会員との交流会	950
(5)奨学金積立	1,000
(6)施設設備支援	600
(7)事務費・予備費	296

平成26年度の晴香園後援会の決算をお知らせします。

1.収入の部(単位:千円)	7,494
(1)前期繰越金	899
(2)会費	6,488
(3)その他	106

2.支出の部(単位:千円)	5,355
(1)卒園児支援	270
(2)学力向上支援	530
(3)習い事・社会体験等活動支援	1,470
(4)後援会会員との交流会	972
(5)奨学金積立	1,000
(6)施設設備支援	1,000
(7)事務費・予備費	111
3.次期繰越金	2,139

晴香園フェスタ開催のお知らせ

平成27年10月17日(土) ※雨天決行
10:30~13:30

晴香園フェスタは今年7年目の開催となります。
今年度のテーマは
“まなび～あなたの好奇心に学ビーム(beam)～”
学びの中で遊びが生まれ、遊びを通して学んでいく。
子どもも大人も楽しめる「学び」の面白さを発信します。
皆さんお誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。

当日のお手伝いをしてくださる方を募集しております。
お手伝い頂ける方はご連絡ください。
よろしく願いいたします。

連絡先 TEL 047-345-2722
FAX 047-309-8807

晴香園フェスタ バザーご協力をお願い

商品販売(バザー)では、皆さまからご提供頂いた物品の販売を行う予定です。
大変恐縮ではございますが、物品提供のご協力をお願い申し上げます。
準備等がありますので、**受付は10月9日(金)まで**とさせていただきます。
ご理解賜り、ご協力頂けますようお願いいたします。



バザー商品の受付
※着払いはお受けしていません。
※誠に勝手ながら、物品は“新品”に限らせて頂きます。

宛先 〒270-0011 千葉県松戸市根木内145 児童養護施設 晴香園 宛
※詳細項目に【バザー商品】とご記入ください。

晴香まなび基金のお振込先

ご支援頂く金額はいくらでも構いません。
下記にお振込み頂ければ幸いです。
ご支援、心より感謝いたします。

千葉銀行 小金原支店 普通預金
口座名 晴香園後援会 晴香まなび基金
会計 橋本信男
口座番号 3580945

晴香園後援会費・寄付金のお振込先

ゆうちょ銀行をご利用の場合
晴香園後援会専用「払込取扱票」をご利用頂ければ
振込手数料はかかりません。

◆銀行振込の場合
みずほ銀行 新宿西口支店 普通預金
口座番号 4645936
口座名 社会福祉法人 晴香 晴香園後援会

編集後記

職員感動体験研修(子どもを支援するにあたってよりよい人間観をもつために職員が体験する感動体験研修)で、高尾山の琵琶滝水行道場へ行かせてもらいました。お世話になった神様は、南無大聖不動明王。本堂にその彫像を拜むことが出来ましたが、その表情はとても怖いものでした。慈悲を表したものだそうです。

子どもを真剣に怒る母親は、子どもが憎くて怒るのではなく、子どもを愛しているからこそ、心を鬼にして怒る。その心が慈悲であり、彫像の表情は怖いものになっていると説明がありました。さて、普段の自分の言動を通して、子ども達に、真剣な心が伝わっているのだろうかと不安になりました。血の繋がりが無いだけに、気持ち伝わりが薄いことも多いだろう。実の親との関係が薄い子どもにしてみれば、この慈悲を感じとることも難しいだろう。怒る場面って難しいなと思いました。

これから子ども達は夏休み。まずは、子どもと一緒にいる時間は貴重な時間だと、自分に言い聞かせながら職場に向かおうと思います。

広報担当 渡部・門馬・大塚